

日本の温水洗浄便座が「IEEE Milestone」に認定

**発売から半世紀以上を経て日本に「おしりを洗う」文化を根付かせた温水洗浄便座
先駆的に開発した3社の取り組みが社会に貢献した「歴史的偉業」として認定**



このたび、日本における温水洗浄便座を先駆的に開発した伊奈製陶（現・株式会社LIXIL）、東洋陶器（現・TOTO株式会社）、松下電器産業（現・パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社）が1967年から1979年にかけて発売した温水洗浄便座が、「IEEE Milestone^{※1}」に認定されました。これは、電気・電子分野の世界最大の技術専門家組織であるIEEE（アイ・トリプル・イー）^{※2}が、社会や産業の発展に多大な貢献をした歴史的な業績を顕彰するものです。

日本では、1960年代に温水洗浄便座が登場し、企業各社は長い時間をかけて信頼性の高い洗浄・乾燥機能等の商品開発や、普及活動に取り組み快適性と衛生性の新たな基準を確立してきました。その結果、温水洗浄便座はすでに国内の一般家庭の約8割^{※3}に普及しています。半世紀以上の時をかけて日本に「おしりを洗う」文化を根付かせ、また、海外においてもその認知を拡大しつつあります。今回の認定は、日本が世界に誇る技術革新の一つである「温水洗浄便座」がその功績を認められた証しです。

今後も日本で発展してきた温水洗浄便座の技術や「おしりを洗う」文化を世界に広め、衛生的で快適なトイレ空間の提供に取り組んでまいります。

＜今回の認定内容＞

Title: Pioneering Electric Bidet Toilets, 1967-1979

名称: 温水洗浄便座の先駆け、1967-1979

In 1967, Ina-Seito introduced the Sanitarina 61, an electric bidet toilet engineered for Japanese users through anthropometric measurements and user-centered engineering. Significant subsequent electric bidets included TOTO's Wash-Air Seat which introduced an electrically controlled heated seat in 1969, and Matsushita Electric's DL-80 with electronic control in 1979. Each of these popular innovations improved personal hygiene, enhanced quality of life, and transformed sanitation technology in Japan.

1967年、伊奈製陶は日本人の体格測定や人間工学に基づいて開発された、国産初の温水洗浄便座「サニタリイナ61」を発売しました。その後も、1969年に東洋陶器が発売した電気制御による暖房便座付きの「ウォッシュエアシート」、1979年に松下電器が発売した電子制御式の「DL-80」といった温水洗浄便座が相次いで登場します。これらの革新的な製品はいずれも広く普及し、日本の個人衛生を向上させ、生活の質（QOL）を高め、そして衛生技術そのものを大きく変革しました。

※1 IEEE Milestone: 電気・電子をはじめとする技術領域において達成された画期的なイノベーションの中で、開発から25年以上経過し、社会や産業の発展に多大な貢献をした歴史的業績を顕彰する制度として1983年に創設された。 ※2 IEEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers): 米国に本部をおく電気・電子分野の世界最大の技術専門家組織。1884年に創立のAIEE (米国電気学会) と1912年創立のIRE (無線学会) が1963年に統合して発足した。 ※3 内閣府「消費動向調査」より

＜参考情報＞

・サニタリイナ61（1967年・伊奈製陶）

1964年に医療用として販売されていた、スイスのクロス・オ・マツ社の温水洗浄便器の輸入販売を始めましたが、日本人の体型に合わず、すぐに国産化に取りかかり1967年に国産初の温水洗浄機能付きトイレ「サニタリイナ61」を発売しました。日本人のおしりの形を調べ、アンケートを取りながら、ノズルの位置や角度など、細部にわたる開発が行われました。ポンプの水圧でノズルを押し出し、温水でおしりを洗浄します。足元のスイッチ一つで、温風によるおしりの乾燥から、便器洗浄までを行う完全自動式で、画期的でした。後の「シャワートイレ」に繋がる商品です。



・ウォッシュエアシート（1969年・東洋陶器）

1964年に米国のアメリカン・ビデ社から輸入販売していた「ウォッシュエアシート」を外観から基本機構に至るまで大規模な改良を施し、1969年に国産化して発売しました。改良に際しては、外気温に関わらず安定した適温の温水でおしり洗浄ができる機構や快適な温度の温風でおしり乾燥ができる機構を独自に開発。スッキリした見た目でおしり洗浄機能、乾燥機能、暖房便座機能を搭載しました。後の「ウォシュレット」に繋がる商品です。



※「ウォシュレット」はTOTO株式会社の登録商標です。

・DL-80（1979年・松下電器産業）

1979年に松下電器産業が発売した「DL-80」は、電子式制御を本格的に導入した民生用温水暖房便座です。既存の便器に後付け可能な設計とすることで、トイレ設備全体を交換することなく導入できる利便性を実現しました。電気暖房機や電気湯沸かし器などの家電開発・製造ノウハウを活かし、温水温度や水圧を精密に制御する電子制御技術により、従来にない快適性と安全性を両立しました。後の「ビューティ・トワレ」に繋がる商品です。



※「ビューティ・トワレ」はパナソニック ハウジングソリューションズ株式会社の登録商標です。